

【事例4】みんなで育てて収穫した野菜を食べてみよう。 子供・保育者の動きと、保育者の動きを支える思い

要領・指針	(1)身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心をもつ。 (2)身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり考えたりし、それを生活に取り入れようとする。
保育者の願い	・野菜の栽培を通して、野菜が生長していく様子を見て、不思議・尊さを感じてほしい。 ・育てた野菜を自分たちで調理して食べることで、食の楽しさを感じてほしい。 ・育てた野菜をみんなで調理し食べる経験を通して、一緒に活動する楽しさや目的に向かって活動する「ワクワクドキドキ」を感じてほしい。
生活経験	・園で野菜の栽培をしている。 ・例年、年長児が育てた野菜を使ってクッキングをしている。また、さつまいも収穫後はどのクラスもクッキングをしている。 ・毎年、野菜の収穫をしながら、それぞれの野菜の花や形等を観察し、気づきを報告する経験をしている。

子供の動き

保育者の働きかけ

保育者の思い



A:こんな大きい米ナスが7個もできてたよ。
B:前の年長組さん米ナスでピザみたいなが作っていたね。
A:分けてもらって食べたらおいしかった。
B:ぼくたちも作りたいな。
C:うん、食べたい食べたい！

T:みんなも作って食べてみる？
何を準備したらいいかな？

D:ピザだから、チーズとかソーセージを入れよう。
A:ケチャップも入ってたよ。
↓
A.B.C.D…: (口々に)
いい匂いしてきた～！
ジューって音がする！
早く食べたい！
待ちきれない！

※みんなどんどん前のめりになり、匂いや音、色の変化等に気づき、発言し始める。

○五感を刺激するように言葉をかけよう。ホットプレートの中をじっと観察すると子供の気づきがうまれそう。
○みんなで育てて収穫・調理することで、食べる意欲につながってほしいな。

A:うまい！めちゃくちゃうまい！
B:おいしいね。
C:やわらかい。
D:家のナスは苦手だけど、これだったら食べられる。
A:また作りたい！
B:まだ食べたい！
C:家でも作ってもらおう。
D:紙に作り方を書いていこう！



T:どんな味がするかな？
みんなが育てた野菜、おいしいね！苦手だったのに食べられて嬉しいね！

○園でのクッキングの様子や子供の会話を家庭に発信しよう。
(クラスだよりで速報発信)
・食べたいものが増える子供
・一緒に食べたい人がいる子供
・食べ物話題にする子供 等
園での食育につなげ、育ちのベースづくりになればいいな。

「家でも料理してみました」
「ナスが苦手だったのに家でも食べていました」
などの保護者からの声が聞かれた。

キーワード：体験 生活経験 食育